

令和6年度 第51回「部落差別をなくする運動」

強調旬間啓発事業

参加者アンケート



中・高校生の和太鼓の演奏は初めて聴きましたが、体の中に響く力強さで素晴らしかったです。みなさん楽しそうな表情が印象的でした。若さと共に伝統芸能に感激でした。



「知るきっかけを与えない」＝「寝た子を起こさない」の考え方では、無知による差別が行われたり、それを引き起こさせる人が現れたりしてしまうことが分かった。



同和問題に関しては小学生の頃から学習していましたが、対外国人や障害者に対して、無自覚、無意識の差別をしていないか？と気になりました。部落差別の啓発事業ですが、人権全体を考える良い機会となりました。



マジョリティ特権の説明を聞くことで、マイノリティの気持ちに気づくことができました。この特権に気づけると世の中の見方は変わると思いました。無自覚な差別があふれる社会構造の中で、自分に何ができるのか、考えなければならないと思いました。